

# 皆さんの意見を紹介します② 行政改革大綱の意見公募結果

行方市行政改革大綱に対する意見公募結果について、先月号に続いてご紹介します。

## ④ 市民参加による公共サービスの向上

●問●市民団体のオンブズマンを組織して、市民の立場で公平に監視できるようにする。

▲答▼市民への説明責任を十分果たしながら、市民との信頼関係を構築していきます。行政の透明性を一層向上させるよう進めます。

●問●シルバー人材センターを今以上に積極的に活用してほしい。

▲答▼現在でもシルバー人材センターに委託している業務もあり、今後とも経費削減や高齢者の生きがいづくりに資するため検討してまいります。

●問●ボランティア団体の育成と支援

▲答▼新たな地域づくりの担い手であるボランティア団体との協働による取組がもたらされており、育成支援をはじめ協働による指針づくりを行います。

## ⑤ 財政の健全化

●問●財政難と市民の貴重な税金を考  
えるとき、実質的な視察旅行と親睦・  
慰安旅行を区分し、親睦・慰安旅行は  
自己負担とし職員の同行も廃止し、一  
切の市費の支出をやめる。旅行者が  
添乗同伴の場合は、市職員の同行の必  
要はない。各種団体の旅行に市長が同  
行を要請された場合も極力自粛する。

▲答▼経費節減と事業効果の観点から、  
見直しを行っています。現在、職員の  
旅費日当も削減していることもあり、  
抜本的な見直しを行います。

●問●市の所有する遊休地の処分や老  
朽建築物の撤去等を行い、財源の確保  
に努める。

▲答▼ご指摘のとおり遊休地の売却・  
貸付の検討と老朽施設の整理などに努  
め、財源の確保に向けて検討をしてま  
います。

●問●麻生・北浦・玉造などの地域間格  
差の是正と、公平な事業支出に努める。

▲答▼行方郡合併協議会による行方市  
まちづくり計画（新市建設計画）を基  
本に事業を進めていますが、計画策定  
上の留意点には、三町を一体的な地域  
とみて、新市をともに築いていく計画  
であり、公共施設の統合整備につい  
ては、住民生活に急激な変化を及ぼさ  
ないよう十分配慮し、地域バランス・  
財政状況を考慮するよう、事業を実施  
しているところです。

## ⑥ 情報化の推進

●問●予算の優先順位を決めて、市民  
に分かりやすく広報する。

▲答▼限りある財源を有効に執行する  
ためにも、ご指摘のように優先順位を  
決めて取り組めます。また、その内容  
については、市民にわかりやすく広報  
紙・ホームページに掲載します。

●問●防災行政無線を屋内で聴ける受  
信機や情報端末を各戸に設置する。そ  
の設置費用は市の補助と個人負担とす  
る。

▲答▼市の防災行政無線は設置してか  
ら20年を超えており、そのつと修繕を  
してきた経緯があります。各戸に受信  
機、情報端末を設置することは莫大な  
予算が必要であり、大変困難なこと  
ですが、市民の安全安心が最優先です  
ので、別のよい方法を検討したいと考  
えております。

## ⑦ その他

●問●新庁舎を麻生地区に造ってほ  
しい。

▲答▼本年7月4日に庁舎建設検討委  
員会が組織されました。この委員会  
の方向性を見極めながら、検討したい  
と考えております。

●問●市の条例を必要に応じて作り、  
実行すべきである。

例・せっかくお金をかけて道路改良を  
して、幅員を拡張し土手に芝を張って、  
立派な市道や農道をつくっても、農業  
で芝を枯らして、そのために雨で土砂  
が流れ道路の幅が狭くなり車のすれ違  
いに危険を感じています。何とかして  
ほしい。

▲答▼貴重な土地を提供していただき、  
道路を整備してきたわけですが、この  
ようなことが無いよう区長さんを始め  
地域の皆さんの協力を得ながら解決し  
て行きたいと思えます。条例の制定に  
ついては検討課題として考えてお  
りますが、条例制定以前に地区で解決  
できるよう市でも検討をします。

●問●北浦幼稚園の保育を2年から3  
年保育にしてほしい。

▲答▼現在の園舎は施設が狭隘で3年  
保育は困難ですが、今後の検討  
課題といたします。

# 「行方市集中改革プラン」を公表します

①限られた財源の中で、今後、多様化する行政課題に的確に対応していくために、行政のスリム化・行政の効率化が求められております。

行方市集中改革プランは、平成18年9月に策定された行方市行政改革大綱に基づき、平成18年度から向う5年間で取り組むべき行政改革の項目について、その目標を掲げ、簡素で効率的かつ効果的な行政運営をすすめる市民の負託に応えていくものです。

②行方市行政改革大綱は、市民サービスを一層向上させることを第一にスリム化、行政の効率化を図り、新市行方市にふさわしい行政改革を進める指針です。

③行方市集中改革プラン推進状況の公表については、集中改革プランについて、実施の検証を行いその見直しをし、計画を再度策定して点検管理を実施します。

そして、年度末にその進捗状況及び次年度の計画を策定し、広く市民にわかりやすく市報「行方」や市ホームページで公表します。

## 行方市集中改革プラン体系図

